

第59回

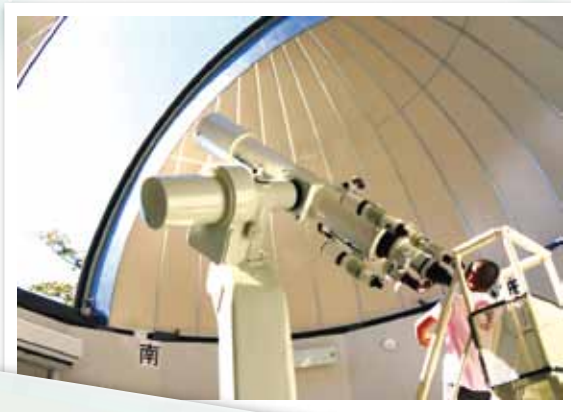
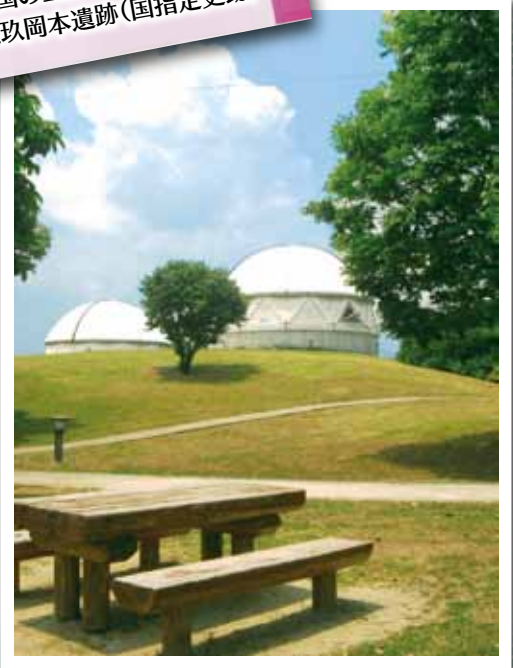
福岡県公民館大会

平成26年7月31日（木）
春日市 クローバープラザ 大ホール



春日の婿押し
(国指定重要無形民俗文化財)

奴国の丘歴史公園・
須玖岡本遺跡(国指定史跡)



白水大池公園 星の館

目 次

第 59 回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第 59 回福岡県公民館大会 開催要項	2
平成 26 年度公民館役職員表彰一覧	4
平成 26 年度優良公民館表彰一覧	7
講演	8
インタビュー・ダイアローグ	10
福岡県公民館大会年表	12

【奴国の丘歴史公園・須玖岡本遺跡（国指定史跡）】

春日市域は弥生時代に文化の先進地として栄え、市内には多くの遺跡があります。中でも岡本地区は、中国の歴史書「後漢書」や「魏志倭人伝」に登場する「奴国(なこく)」の中心地であったと言われており、須玖岡本遺跡は国指定史跡となっています。奴国の丘歴史公園はこの一帯を整備した公園で、写真にある2つのドームでは、発掘時の状態で保存してある甕棺などを見学できます。また、公園の側にある奴国の丘歴史資料館では、市内で出土した様々な文化財の他、民族資料等を展示しています。

【春日の婿押し（国指定重要無形民俗文化財）】

江戸時代から続いているこの伝統行事は、前年に結婚した新郎新婦を祝福するもので、毎年1月14日に春日神社で開催されます。祭りの見所である『樽せり』は、神社前の池の中で、花婿を含む男性達が締め込み姿となって樽を奪い合います。その勇壮な姿は全国的にも有名です。

【弥生の里かすが 奴国の丘フェスタ】

市民に春日市の文化財をもっと身近に感じてもらおうと、奴国の丘歴史公園と歴史資料館において毎年秋に開催しています。歴史資料館バックヤードツアーやものづくり体験、コンサートなど、大人から子どもまで楽しめる様々なイベントを行います。貫頭衣を着用したスタッフや、弥生人を模した春日市 PR 大使「かすがくん・あすかちゃん」が雰囲気盛り上げます。

【白水大池公園 星の館】

春日市最大の公園である白水大池公園内に設置された天文台です。都市部にあることから気軽に利用することができ、学びの場、憩いの場として親しまれています。

第59回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会会長
中嶋 裕史

第59回福岡県公民館大会が、「住みよさ発見 市民都市」春日市におきまして、県内各地から、公民館に関わっておられます皆様の御参加をいただき、盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、本日は、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々や、公民館運営並びに事業が優秀な公民館に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、社会が人を育み、人が社会をつくる好循環に向けたシステムを構築するためには、地域住民の学習活動や交流が大切であると言われていています。そのような中、公民館は地域の実際生活に即した活動を展開し、世代や立場などの異なる様々な人が集まる教育の基盤として、大きく貢献してまいりました。

しかし近年、少子高齢化や都市化の進行、情報化の進展、さらには市町村合併など、社会情勢が大きく変化する中で、これからは公民館を地域コミュニティの拠点として位置付け、多様な人々が集い、学習することなどを通じ多様な主体によるネットワークを構築することが求められています。

このような地域の課題解決や活性化に貢献する公民館を作り上げるためには、関係者の研鑽を深めることが重要であります。

本大会は、こうした視点を踏まえて、テーマを「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」とし、愛媛県新居浜市市民部長の 関 福生 様に「公民館は永久に不滅です！」と題し、御講演をお願いしております。

午後からのインタビュー・ダイアログでは、「地域の活性化に向けた公民館の役割」をテーマに、協議を深めてまいりたいと考えております。

本大会が、皆様方にとりまして、実り多き大会となりますことを、心から願う次第です。

おわりに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで、多大なる御支援を賜りました地元春日市をはじめ、福岡地区の皆様、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げます、挨拶といたします。

平成26年7月31日

第59回 福岡県公民館大会開催要項

- 1 趣 旨 社会情勢が急激に変化する中で、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、公民館として果たすべき役割等について理解を深めることにより、今後の公民館等の活動の一層の充実・発展に資する。
- 2 大会テーマ 地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方
- 3 主 催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 主 管 春日市教育委員会
- 5 後 援 福岡県、春日市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県青少年問題協議会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日 平成26年7月31日（木）
- 7 会 場 クローバープラザ 大ホール
〒816-0804 春日市原町3-1-7
TEL 092-584-1213
- 8 参 加 者 約1,000名
公民館等職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館等関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、行政関係者、学校教育関係者

9 日 程

9:30～10:15 受 付

10:15～11:00 大 会 式 典

- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・表彰式
- ・日程説明



11:00～12:10 講 演

「公民館は永久に不滅です！」
～自信を持ってそう言えるための10の提案～
愛媛県新居浜市市民部長 関 福生 氏

12:10～13:10 昼 食

13:10～15:00 インタビュー・ダイアローグ

「地域の活性化に向けた公民館の役割」

(登壇者)

関 福生 氏 (愛媛県新居浜市 市民部長)

坂本 武男 氏 (宇美町原田下区)

花田 正嗣 氏 (久留米市三潞校区 青少年育成協議会会長)

(コーディネーター)

大島 まな 氏 (九州女子大学 教授)

15:00 閉 会

- ・次期開催地挨拶

福岡県公民館連合会表彰

祝

平成26年度公民館役職員表彰

平成26年度優良公民館表彰

平成26年度福岡県公民館連合会公民館役職員表彰一覧

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立 公民館	1	福岡市	黒川高明 くろかわたかあき	東区 馬出公民館 まいだしこうみんかん	館長	【人権教育】 小・中学校や校区内の保育所等と連携し、子どもたちに関わる施設や職員の人権意識の啓発を図るなど、人権尊重のまちづくりに向けた地域の取組みに大きく寄与してきた。
	2		石川まさる いしかわまさる	東区 香椎東公民館 かしいひがしこうみんかん	前館長	【地域づくり】 ブログを活用し地域ニュースをタイムリーに伝えるなど情報発信に力をいれ、長きにわたり公民館利用者のことを第一に考え地域住民に愛される公民館運営に多大な貢献をした。
	3		田原よしかず たはらよしかず	博多区 御供所公民館 ごくしょこうみんかん	館長	【地域づくり】 多様な学習や健康管理の場を提供する「すこやか学級」や「地域課題教室」、「御供所街づくり大学」などを実施するとともに、「祇園山笠」や「どんたく」をはじめとした伝承文化の継承など地域振興の発展に寄与した。
	4		板谷加代子 いたたにかよこ	博多区 千代公民館 ちよここうみんかん	館長	【地域づくり】 長きにわたり多くの経験と実績のもと、参加者をより多くするため講座案内や年間計画などを分かり易くまとめ、参加者の意見をとりいれるなど魅力ある講座の増設に努め、安定した公民館運営に寄与した。
	5		遠藤かず子 えんどうかずこ	中央区 簀子公民館 すいここうみんかん	館長	【地域づくり】 長きにわたり、多様化する地域住民の学習ニーズに対し、地域課題を的確に捉え、地域に密着した事業展開を進め、子どもから高齢者まで幅広い事業の実施に努め、地域住民の学習意欲の喚起を図ることに尽力した。
	6		楠根あきみつ くすねあきみつ	中央区 赤坂公民館 あかきかこうみんかん	館長	【地域づくり】 長きにわたり、多様化する地域住民の学習ニーズに対し、地域課題を的確に捉え、地域に密着した事業展開を進め、子どもから高齢者まで幅広い事業の実施に努め、公民館と地域との調和に寄与した。
	7		川上あけみ かわかみあけみ	中央区 福浜公民館 ふくはまこうみんかん	主事	【地域づくり】 長きにわたり、地域課題解決へ向けた各種事業の企画実施や、円滑な地域コミュニティづくりを心掛けた地域団体への助言を積極的に行うなど、地域活動が活発にする支援に尽力し、公民館と地域との調和に寄与した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立 公民館	8	福岡市	よし だ とも こ子 吉 田 智 子	南区 なが おか こう じん かん 館 長 丘 公 民 館	主 事	【地域づくり】 長きにわたり、地域課題解決へ向けた各種事業の企画実施や、円滑な地域コミュニティづくりを心掛けた地域団体への助言を積極的に行い、各種団体との連携や連絡調整を積極的に行い、公民館と地域との調和に寄与した。
	9		くろ き ゆ み 美 黒 木 由 美	南区 しお ぼる こう じん かん 館 塩 原 公 民 館	主 事	【地域づくり】 地域人材育成事業として、人材の発掘、登用や地域課題の把握などの事例を挙げながら地域の実態に応じた活動を支援するため、コミュニティづくりの研修会を開催するなど、校区における地域づくり支援に寄与した。
	10		まつ なが よし かつ 勝 松 永 義 勝	城南区 つつみ こう じん かん 館 堤 公 民 館	館 長	【高齢者教育】 公民館・自治協議会・ボランティア・行政・地域の介護施設のスタッフなど、様々な人と連携し、認知症のひと・その家族の癒やしの場「つつみカフェ」という事業を生み出すなど、公民館活動の運営、地域のまちづくりに寄与した。
	11		なか しま ひろ こ子 中 島 裕 子	早良区 はら にし こう じん かん 館 原 西 公 民 館	館 長	【団体育成・サークル活動】 地域の有志からなる「原西ボランティアの会」、高齢者の生活を支援する「原西おせっかい」、高齢者の語らいの場である「おしゃべりサロン」等の立ち上げから、運営サポートまで献身的に関わり、多大な貢献をした。
	12		つ の ぎき 津野崎あけみ	早良区 わき やま こう じん かん 館 脇 山 公 民 館	前 主 事	【地域づくり】 地域住民のニーズを的確に捉え、自治協議会や地域団体と連携を図りながら、地域住民への情報の提供や活動を通じて、地域の特性にあった公民館事業を企画し、より良い地域づくりに貢献した。
	13		よ こう ひで お 夫 余 公 秀 夫	西区 めいの はま こう じん かん 館 姪 浜 公 民 館	前 館 長	【地域づくり】 長きにわたり、社会教育活動や地域コミュニティ活動の支援等に熱意をもって取り組み、校区住民の連携と絆を深めるため、小学校や校区自治協議会と一緒に伝統文化創造事業に取り組み、地域の交流促進に貢献した。
	14		こん どう えい すけ 甫 近 藤 英 甫	西区 い き ひがし こう じん かん 館 老 岐 東 公 民 館	館 長	【地域づくり】 地域団体と連携協力して、高齢者の健康づくり・生きがい教室、人権学習、子どもの健全育成事業、乳幼児ふれあい学級等安心・安全な地域づくりに熱意を持って取り組み、地域住民の結びつきを深め、活性化を図るなど尽力した。
	15		たか ぼ せい さぶ ろう 郎 竹 迫 征 三 郎	みやま市 やまかわこうじんなんぶ し かん 山川公民館南部支館	前 支 館 長	【地域づくり】 長きにわたり、地域住民のつながりを意識した公民館活動を積極的に展開し、特に、「平家まつり」は、子どもからお年寄りまで多くの校区民が参加し、人と人との繋がりを深め、町を代表する事業にまで成長させることに尽力した。
	16		あ べ いつ お 夫 安 陪 逸 夫	みやま市 せたくこうじんかんきよみず し かん 瀬高公民館清水支館	前 支 館 長	【地域づくり】 校区の現状と課題を踏まえ、10年後の将来像として、「緑のやすらぎ 歴史と観光の里 清水」というビジョンを策定し、その実現に向けて、既存の事業活動を継承しつつ、新しく取り入れた事業の拡大に貢献した。
	17		ほら たけ ち づ こ子 原 武 千 津 子	く り め し み づまこうじんかん 久留米市三漕公民館 うん 営 しん ぎ かい 会 運 営 審 議 会	委 員	【公民館施設の管理運営】 利用者の立場になって三漕公民館の利活用への意見を行い、三漕公民館の運営に貢献するとともに、社会教育の振興に寄与し、地域における実践的な社会教育活動に尽力した。
	18		き だ す み こ子 喜 田 す み 子	く り め し み づまこうじんかん 久留米市三漕公民館 うん 営 しん ぎ かい 会 運 営 審 議 会	委 員	【公民館施設の管理運営】 利用者の立場になって三漕公民館の利活用への意見を行い、三漕公民館の運営に貢献するとともに、社会教育の振興に寄与し、地域における実践的な社会教育活動に尽力した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
公立公民館	19	岡垣町	はし うち まさ のり 橋 内 政 則	おか がき まち こう じん かん 岡 垣 町 公 民 館 うん えい しん ぎ 運 営 審 議 会	元 委 員	【公民館施設の管理運営】 長きにわたり、日頃の実践活動に基づく広い見識をもって公民館講座の内容、施設管理・運営の改善に積極的に意見を出し、町の公民館運営の向上及び生涯学習の推進に貢献した。
自治（町内）公民館	20	北九州市	むら かみ さと し 村 上 叡 司	もん じ 区 門 司 区 もん じ 校 区 公 民 館	館 長	【地域づくり】 校区まちづくり協議会と連携しながら、様々な講座の開催に加え、校区秋まつりや文化祭等の行事、歩こう会やグランドゴルフなどのレクリエーション、高齢者支援や防犯防災活動などを通じて、地域づくりや公民館活性化に尽力した。
	21		たか ぎ まさ のぶ 高 木 理 信	もん じ 区 門 司 区 しょう じ 公 民 館 庄 司 公 民 館	館 長	【地域づくり】 校区まちづくり協議会や婦人会と連携しながら、盆踊りやグランドゴルフなどの行事を開催するとともに、地域の見守り活動や高齢者支援活動などを通じて、地域づくりや生涯学習の推進、公民館の活性化に尽力した。
	22		しげ み ひで はる 重 見 秀 治	こ 倉 北 区 かみ よん こう じん かん 上 四 公 民 館	館 長	【地域づくり】 校区まちづくり協議会や婦人会と連携しながら、盆踊りやグランドゴルフなどの行事を開催するとともに、地域の見守り活動や高齢者支援活動などを通じて、地域づくりや生涯学習の推進、公民館の活性化に尽力した。
	23		ばん どう おん じ 坂 東 文 治	こ 倉 北 区 みょう けん どおり こう じん かん 妙 見 通 公 民 館	館 長	【地域づくり】 校区の自治公民館館長及び町内役員として地域と協力しながら、地域の様々な年齢のかたが交流できるような健康事業、体育事業、清掃活動を積極的に行い、地域に根ざし、親しまれる自治公民館活動に尽力した。
	24		きよ なが けん じ 清 永 賢 治	こ 倉 南 区 みつ たけ こう じん かん 三 岳 公 民 館	館 長	【地域づくり】 年間を通じて地域の幅広い年齢層の方々が参加できる多彩な地域行事を企画・実行し、様々な活動を通じて、自治公民館の活性化に寄与した。
	25		ささ だ まさ つく 笹 田 昌 嗣	は 幡 西 区 こ ん 嶺 公 民 館 小 嶺 公 民 館	前 館 長	【地域づくり】 伝統行事が盛んな地域で、ほたる・めだか祭、観音堂仮装盆踊り大会、祇園山笠等の実施において中心的存在として活躍し、自治区会や子ども会などの諸団体との連携をとりながら地域に根付いた活動に尽力した。
	26		え がしら もと かつ 江 頭 元 勝	は 幡 西 区 なか はる こう じん かん 中 の 原 公 民 館	館 長	【地域づくり】 スポーツ大会、運動会、まち美化、町内パトロール等の多種多様な行事に加え、高齢者向け、子ども向けなど地域住民が参加しやすい公民館運営に尽力し、公民館組織の基盤を統括してきた。
	27		ふか みず のり ゆき 深 水 紀 行	は 幡 西 区 えい の まる ひがし 区 公 民 館 永 犬 丸 東 区 公 民 館	館 長	【地域づくり】 館長に就任以来、老朽化したハード面を整え、ソフト面では、他世代交流を目指し、若者や一人暮らし高齢者などを中心に、今まで地域活動などに参加していなかった人たちに声をかけをし、地域交流の活性化に尽力した。
	28		りゅう の まさ あき 龍 野 正 明	大 川 市 ちよう ない 公 民 館 16 町 内 公 民 館	館 長	【地域づくり】 敬老会への子ども会の参加による世代間の交流や、他分野、他町内との連携、交流促進を積極的に図り、地域の公民館活動の推進に寄与し、ふれあいと融和を図り、明るく住みよいまちづくりに貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績（分野及び内容）
自治 （町内） 公民館	29	大川市	酒見 義男 さけ み よし お 男	大川市 北酒見公民館 きた さけ み こう じん かん 館	館長	【地域づくり】 国県指定重要文化財神社、風浪宮の伝統行事の継承や、町内の親睦、融和を積極的に図り、子どもから高齢者までの世代間交流や近隣地域との交流、美化運動等、明るく住みよいまちづくりに尽力した。
	30	筑後市	中島 三夫 なか しま みつ お 夫	筑後市 松原校区公民館 まつ ばら こう ぐ じん かん 館	館長	【地域づくり】 松原校区全体をまとめ、校区コミュニティ協議会立ち上げの中核を担い、民生委員、学校の評議員を兼務しながら、長きにわたり、地域行事において先頭に立って地域の活性化に貢献した。
	31		北島 奎吾 きた じま けい こ 吾	筑後市 四ヶ所公民館 し か け し ょ じん かん 館	館長	【地域づくり】 二川校区全体をまとめ、校区コミュニティ協議会公民館部会においても公民館活動の先頭に立ち地域づくりに尽力し、芝桜をはじめとする花づくり運動を牽引し、地域全員が参加する仕組みづくりに貢献した。
	32	飯塚市	宮嶋 義松 みや じま よし まつ 松	飯塚市 旧芳雄公民館 きゅう よし お こう じん かん 館	館長	【地域づくり】 長きにわたり、公民館及び自治会活動を通じて、地域で行われる祭りや福祉活動等のイベント等に積極的に係わり、地域コミュニティ活動や地域住民の連帯意識を高めるなど、公民館活動の活性化と振興に尽力した。
	33		福澤 正剛 ふく ざわ せい こう 剛	飯塚市 下三緒自治公民館 しも み お じ ち じん かん 館	館長	【地域づくり】 長きにわたり、各種事業計画及び実施において地域振興、活性化のため、率直な意見を述べ、指導力を発揮し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に対する学習の指導者や講師になり、郷土愛の育成や生涯学習の普及に寄与した。
	34	田川市	坂田 隆一 さか た りゅう い ち 一	田川市 西本町公民館 にし ほん まち こう じん かん 館	前主事	【地域づくり】 地域行事をはじめ、花いっぱい運動で地域の花壇に四季折々の草花を植え、地域住民とのふれあいと連帯感を高め、住みよい地域づくりのため、長きにわたり、公民館活動に携わり生涯学習の推進に寄与した。

平成26年度福岡県公民館連合会優良公民館表彰一覧

種別	番号	市町村名	公民館概要			特色	
			公民館名	所在地	館長名		
自治 （町内） 公民館	1	田川市	公民館名	所在地	館長名	開館65年を迎え、校区住民から大変親しまれている。公民館長をはじめ、各役員、地域住民が一体となり安全で住みよい地域環境づくりをめざして改善を図り、地域住民の交流と親睦と共に老人、子どもが大切にされる町、地域づくりを推進している。	
			かみ 伊田西公民館 かみ い た にし こう じん かん 館	〒825-0002 田川市大字伊田1194	薦野 臣王		
			施設・設備の状況	敷地面積	430㎡		
			建物延面積	227㎡			
			構造	木造平屋建			
			建築年月日	S58.3			
主な設備	和室／ホール／台所／事務所／太師堂						

講 演



「公民館は永久に不滅です！」

～自信を持ってそう言えるための10の提案～

愛媛県新居浜市市民部長

関 福 生

プロフィール

- ・ 1957年 愛媛県新居浜市生まれ
- ・ 1980年 広島大学文学部卒業
新居浜市役所入庁 泉川公民館勤務
- ・ 1982年 社会教育主事講習修了（香川大学）
- ・ 1983年 新居浜市教育委員会社会教育課 社会教育主事発令
- ・ 1993年 職員研修所、企画調整部生涯学習課、児童福祉課で勤務
- ・ 2005年 社会教育課で地域主導型公民館への移行、学校支援地域本部等に関与
- ・ 2013年 企画部総合政策課長
- ・ 2014年～ 市民部長

現在の主な公職等

- ・ 文部科学省社会教育アドバイザー
- ・ 中央教育審議会生涯学習分科会
社会教育推進体制の在り方に関するワーキンググループ 委員

インタビュー・ダイアローグ

「地域の活性化に向けた公民館の役割」

コーディネーター



九州女子大学 共通教育機構 教授 **大島 まな**

九州大学大学院教育学研究科博士課程修了。福岡県社会教育委員、福岡県アンビシャス運動推進委員、福岡県男女共同参画審議会委員、北九州市社会教育委員など。著書に『社会教育の核心』『明日の学童保育』など。

山口県や北九州市若松区で、地域課題に対処する人材を育成する「実践必修」研修を実施したり、放課後児童クラブに地域人材を生かす取組を行ったりしてきた。

登壇者



愛媛県新居浜市 市民部長 **関 福生**

今、公民館を取巻く環境は決して順風満帆とは言えない。ヒト・モノ・カネは削減され、厳しい運営を強いられる公民館が増え、他施設に移行するケースも生まれている。そんな状況下だからこそ、もう一度公民館の原点に回帰してみようではないか。自分達の地域をより良いものにしたいという「志」が結集する拠点、公民館の理念「集い」、「学び」、「結び」さらには「創る」の理念実現に向け、何が必要なのかを皆さんと共に考えたい。



宇美町原田下区 **坂本 武男**

昭和22年生まれ。平成19年に民間企業（某建設会社）を定年退職後、宇美町民生委員児童委員、宇美町社会教育委員の委嘱を受け、ボランティア活動に目覚める。地域に対する恩返しを含め、公民館活動にも継続奮闘中。

中学生になると足が遠く公民館。豊富な知識があるのに、発揮する場がない高齢者。近くに住んでいるのに、お互いの顔も知らない。どこにでもあるような課題に対し、手をかけなくともできることで解決を図る活動を目指している。



久留米市三潴校区 青少年育成協議会会長 **花田 正嗣**

公務員を定年退職後、地元貢献にと「校区まちづくり」組織の立ち上げに携わり、平成23年4月の設立と同時に「三潴校区まちづくり振興会」の事務局長として勤務した。現在は、「三潴校区まちづくり振興会」の青少年育成部会長として三潴小学校と連携しながら、校区の子どもたちの健全育成事業や登下校時の「安全指導・見守り」に取り組んでいる。また、久留米市から青少年育成指導員の委嘱を受け、地域の要望箇所を中心に非行防止の夜間パトロールを行っている。

◆ ヌ 毛

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

福岡県公民館大会年表

大会	期 日	開 催 地	大 会 主 題	全 体 討 議 テ ー マ
第1回	昭和28年1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年4月	八 幡 市		
第3回	昭和29年11月 19日～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す。	公民館の振興はいかにあるべきか－社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年11月 21日～22日	大 牟 田 市 中央公民館	戦後10年間の公民活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す。	赤字財政下の公民館をいかに振興するか。
第5回	昭和31年10月 25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す。	公民館の現状はこのままでよいか。
第6回	昭和32年10月 19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる。	新生活運動の反省と今後の推進方策について。
第7回	昭和34年11月 21日～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年10月 3日～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に即して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか。
第9回	昭和36年6月 3日～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか。
第10回	昭和37年5月 13日～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか。	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか。
第11回	昭和38年5月 25日～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう。	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか。
第12回	昭和39年5月 31日～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか。	公民館への期待－とくに市民性の向上を中心として－
第13回	昭和40年5月 23日～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か。
第14回	昭和41年5月 24日～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう。	住民の創造的生活の確立のために (分科会テーマ)
第15回	昭和42年5月 14日～15日	豊前市市民会館	今日の生活をみつめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習 (記念講演)
第16回	昭和43年5月 28日～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題 (記念講演)
第17回	昭和44年5月 31日～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割 (記念講演)
第18回	昭和45年5月 26日～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう。	公民館の理想と現実

大会	期 日	開 催 地	大 会 主 題		全 体 討 議 テ ー マ
第19回	昭和46年5月 25日～26日	飯 塚 市 文 化 セ ン タ ー	住民の学習にこたえられるための公民館の施設 設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を 育てるための教育をすすめよう。		岐路にたつ 70年代の選択 (記 念講演) 公民館の理想と現実
第20回	昭和47年7月 6日～7日	行 橋 市 市 民 会 館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と 今日的役割を考え、また新しい地域社会 (コミュニ ティ) 形成のための公民館活動のあり方を考える。		明日を創る公民館の新路線 (記念講演)
第21回	昭和48年5月 30日	福 岡 市 立 少 年 文 化 会 館 ホ ー ル	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求 にこたえるための公民館の役 割 (シンポジウム)
第22回	昭和49年6月 6日	(八 女 市) 市 町 村 会 館	魅力ある公民館の創造と前 進	実 践 発 表 対 面 討 議 全 体 討 議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年6月 1日	直 方 市 民 会 館	豊かな地域づくりをめざす 公民館の役割	シ ン ポ ジ ウ ム 講 演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年6月 3日	豊 前 市 民 会 館	住民の生活を高めるための 公民館事業のあり方を考える。	パ ネ ル 討 議 講 演	住民の求めに応ずる公民館事 業のあり方 住民の生活を高 めるための公民館事業
第25回	昭和52年9月 22日	北 九 州 市 小 倉 南 市 民 セ ン タ ー	住民の学習要求に応えるた めの公民館のあり方を考える	分 科 会 (9) 演 講	これからの社会教育
第26回	昭和53年7月 5日	太 宰 府 勤 労 者 体 育 セ ン タ ー	地域住民の学習要求に応え るための具体的な公民館の あり方を考える	分 科 会 (8) 演 講	地域と社会教育
第27回	昭和54年7月 3日	大 川 市 文 化 セ ン タ ー	多様化する地域住民の学習 要求に応えるための公民館 のあり方を考える	分 科 会 (8) 演 講	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年6月 12日	中 間 体 育 文 化 セ ン タ ー	地域住民の実際生活に即し た公民館の在り方について	パ ネ ル 討 議 講 演	地域住民の実際生活に即した 公民館の在り方について
第29回	昭和56年6月 3日	行 橋 市 民 会 館	公民館が果たすべき今日的 意義と役割を考える	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム (3)	青少年をとりまく諸問題に対 処する社会教育
第30回	昭和57年6月 9日	北 九 州 市 小 倉 市 民 会 館	住民が主体となる公民館の 在り方を考える	講 演 分 科 会 (8)	住民が主体となる公民館の在 り方を考える
第31回	昭和58年8月 9日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割 と機能を考える」-今、公民館は地域住 民とともに何をしなければならないか-	講 演 分 科 会 (9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくり のために-
第32回	昭和59年6月 22日	甘 木 文 化 会 館	生涯教育の視点に立った公 民館経営の在り方を考える	講 演 パ ネ ル 討 議 (3) 分 科 会 (2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年6月 13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる 公民館のあり方を考える	講 演 分 科 会 (8)	生涯教育の推進と公民館の役 割
第34回	昭和61年5月 30日	豊 前 市 体 育 館	生涯学習を推進する公民館 の役割・機能を考える	講 演 分 科 会 (7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年8月 6日	北 九 州 市 立 小 倉 市 民 会 館	生涯学習を推進する公民館 の役割・機能を考える	講 演 分 科 会 (7)	「豊かな心を育てる地域社会 の役割」
第36回	昭和63年7月 27日	福岡県立福岡勤労 青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざ す公民館のあり方を考える	講 演 分 科 会 (7)	「生涯学習社会における公民 館の役割」
第37回	平成2年11月 21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民 館のあり方を考える	講 演 シ ン ポ ジ ウ ム (1) 分 科 会 (4)	生涯学習社会における公民館 の役割

大会	期 日	開 催 地	大 会 主 題		全 体 討 議 テ ー マ
第38回	平成3年7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言
第39回	平成4年7月30日	久留米市石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年9月17日	大牟田市大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年7月29日	田川市田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演分科会(5)	生涯学習社会における公民館の役割
第42回	平成7年8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!!-“愛されるため”の魅力アップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年8月7日	北九州市立小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演分科会(5)	生涯学習時代における公民館-絆な生き方と学業国づくり-
第44回	平成10年8月20日	志免町立町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演分科会(5)	公民館のこれから-社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために-
第45回	平成11年7月30日	中間市なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年7月28日	久留米市石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年7月27日	筑後市サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講演分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演分科会(5)	社会教育の出番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年7月23日	荏田町立中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年8月31日	北九州市北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年8月3日	宗像市宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ 少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年8月8日	直方市ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」-子どもの生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動-	講演シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を 公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年8月1日	朝倉市サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年8月1日	柳川市柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年8月4日	田川市田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年8月4日	行橋市行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年8月2日	北九州市八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演インタビュー・ダイアローグ	「元気の出るまちづくり」 「これからの公民館運営と役割」
第58回	平成25年8月29日～30日	福岡市	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	講演分科会(7)	※第64回九州地区公民館研究大会福岡大会を兼ねる



自治公民館を含む
すべての公民館活動を
支援する制度です。

平成26年度

(平成26年5月1日～平成27年5月1日)

公民館総合補償制度

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。

1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約付帯)+見舞金制度]

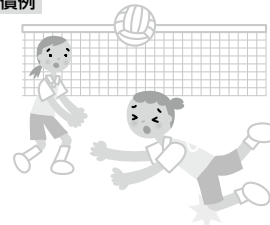
保険

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事の事前練習、準備中、後片付け、行事参加者の往復途上のケガを補償します。

見舞金制度

- 急性疾病に死亡弔慰金、入院見舞金(1日目から)を支給します。
- 公民館建物災害(火災・地震・水災)に見舞金を支給します。

補償例



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

行事傷害補償制度のここがおすすめ

手続きが簡単!

- 年1回の加入手続きで年間の行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

対象者が広い!

- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児も補償します。

補償範囲が広い!

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。
※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

掛金の割引あり!

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

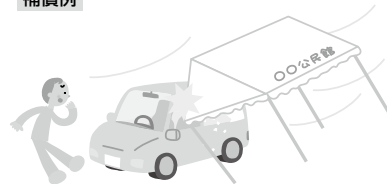
2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約付帯)]

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

補償例



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約付帯)+見舞金制度]

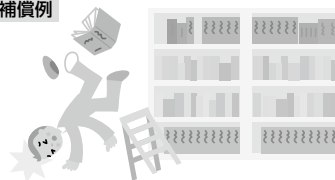
保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。

見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔慰金や入院見舞金(1日目から)を支給します。

補償例



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『平成26年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社

株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

TEL 03-3593-6436

損保ジャパンと日本興亜損保は、関係当局の認可等を前提として2014年9月1日に合併し、「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL ☎ 0120-636-717

FAX ☎ 0120-226-916

※平成25年10月1日より社名変更しました。

公民館総合補償制度 ◆補償額と年間掛金 (平成 26 年 5 月 1 日午後 4 時から保険期間 1 年)

行事傷害補償制度と職員災害補償制度は、保険と見舞金制度を組み合わせたものです。掛金と〈〉内の保険料との差額は、見舞金制度の掛金です。ご加入の際にお振込みいただく掛金は、〈〉の上段に記載の金額ですので、ご注意ください。賠償責任補償制度の掛金は、保険料のみの金額です。※加入口数は 1 公民館につき 1 口までです。

1. 行事傷害補償制度 〈災害補償保険 (公民館災害補償特約・熱中症危険補償特約) + 見舞金制度〉

タイプ		S 型	M 型	L 型	O 型	
保険金額	死亡・後遺障害 改定	500万円	650万円	850万円	1,000万円	
	入院 (1日あたり)	2,600円	3,900円	5,300円	6,500円	
	手術 改定	入院中の手術：入院保険金日額の10倍、外来の手術：入院保険金日額の5倍				
	通院 (1日あたり) 改定	1,200円	1,800円	2,500円	3,000円	
弔慰金 ・ 見舞金 (見舞金制度)	急性疾病死亡	10万円	10万円	10万円	10万円	
	急性疾病死亡 (1日あたり)	3,000円	5,000円	8,000円	10,000円	
	※支給限度額は10万円					
	公民館 建物被害	火災 10万円 地震 3万円 水災 5万円	10万円 3万円 5万円	10万円 5万円 7万円	10万円 7万円 10万円	
1 公民館あたりの 年間掛金 ※掛金のうち〈〉内 の金額が保険料 (単位：円) です。	世 帯 数 区 分	A 1001世帯以上	81,000円 (72,500)	114,000円 (100,900)	153,000円 (137,500)	189,000円 (168,700)
		B 501~1000世帯	69,000円 (61,800)	96,000円 (85,000)	132,000円 (118,700)	165,000円 (147,300)
		C 301~500世帯	57,000円 (51,000)	78,000円 (69,100)	108,000円 (97,100)	135,000円 (120,400)
		D 201~300世帯	42,000円 (37,700)	60,000円 (53,100)	81,000円 (72,800)	102,000円 (91,100)
		E 101~200世帯	30,000円 (26,900)	42,000円 (37,200)	57,000円 (51,200)	72,000円 (64,300)
		F 100世帯以下	21,000円 (18,800)	30,000円 (26,600)	39,000円 (35,000)	51,000円 (45,400)

2. 賠償責任補償制度 〈賠償責任保険 (施設所有管理者特約条項・昇降機特約条項等)〉

タイプ	A 型	B 型	C 型	D 型	E 型
保険金額 (1事故あたり) ※	5,000万円	1 億円	2 億円	3 億円	5 億円
事故対応特別費用	保険期間中を通じ、1,000万円限度				
被害者対応費用	1回の事故について被害者1名につき1万円、かつ、保険期間を通じて50万円限度				
1 公民館あたりの年間掛金	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円	7,000円

※1回の事故について、身体賠償と財物賠償のお支払額は合計して保険金額を限度とします。

※免責金額 (自己負担額) はありません。 ※賠償責任補償制度にお申し込みの場合は、行事傷害補償制度とセットでご加入ください。

3. 職員災害補償制度 〈普通傷害保険 (就業中のみの危険補償特約) + 見舞金制度〉

タイプ		A 型	B 型	C 型	D 型	E 型
保険金額	死亡・後遺障害 改定	280万円	480万円	650万円	800万円	980万円
	入院 (1日あたり) 改定	2,000円	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円
	手術 改定	入院中の手術：入院保険金日額の10倍、外来の手術：入院保険金日額の5倍				
	通院 (1日あたり) 改定	1,000円	1,500円	2,000円	2,500円	3,000円
弔慰金 ・ 見舞金 (見舞金制度)	死亡 (疾病・業務外のケガ・業務中の地震によるケガ)	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
	入院 (1日あたり) (疾病・業務外のケガ・業務中の地震によるケガ)	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円	10,000円
1名あたりの年間掛金 ※掛金のうち〈〉内の金額が保険料 (単位：円) です。		2,700円 (2,100)	4,200円 (3,340)	5,500円 (4,480)	6,700円 (5,560)	8,000円 (6,740)

※職員災害補償制度の保険部分については、団体特有の割引を適用しています (団体割引20%、優良割引15%等)。

※このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお問い合わせください。

■引受保険会社



株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

TEL 03-3593-6436

損保ジャパンと日本興亜損保は、関係当局の認可等を前提として2014年9月1日に合併し、「損保ジャパン日本興亜株式会社」になります。

■取扱代理店 (お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

エコー総合補償サービス(株) お客様専用フリーダイヤル (携帯・PHS からでもご利用になれます)

TEL (フリーダイヤル) 0120-636-717 FAX (フリーダイヤル) 0120-226-916

(SJ13-11787, 平成26年02月14日作成)

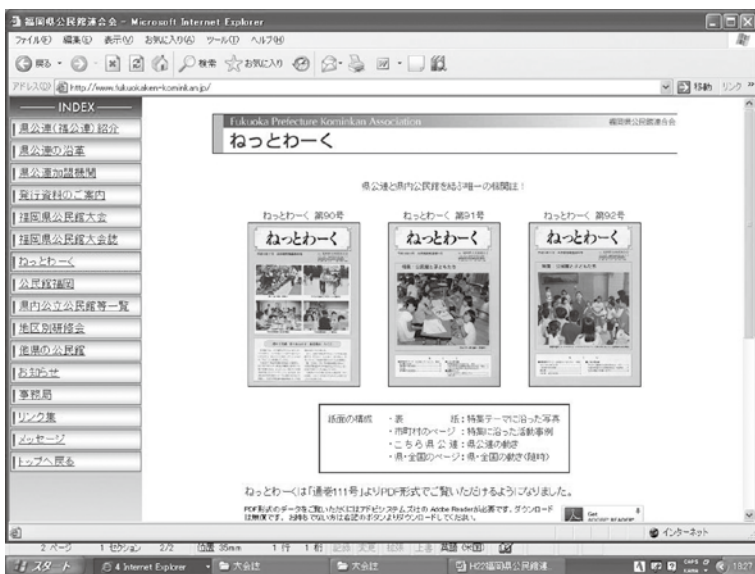
福岡県公民館連合会ホームページ

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ： <http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



Yahoo や Google などの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。
○「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。
○「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



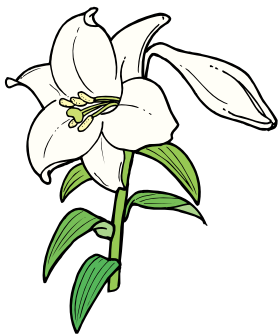
県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

年3回ホームページ上で発行しています。
(7月、11月、3月)
○市町村のページ特集「特色ある公民館活動」
○こちら県公連



定期更新（年3回）以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。

奴国の丘フェスタ



「春日市の花 ゆり」